

ネイチャーセンター ガイド (100)

トロと過ごした思い出

どうも。米犬&荻犬です。前回も登場しました。でも今回はオネダリじゃなくて悲しいお話です。

ある日、自転車で暴走していたら何かがあった。「スポンジか…」米犬はスポンジを少し踏んでしまった。その時、小さな小さな命が悲鳴をあげた。すると、荻犬が何かを訴えた。

「米犬、鳥踏んだ。」

「シラネェよ！スポンジなら踏んだけど。」

「鳥だよ！鳥。だっているよ、足引きずっているのが。」

「えっやだ、グロい！」

荻犬は、「何想像してんだよ！」と心からそう思っていました。

「大丈夫だから来て。」

「はぁ…。何？あつ、鳥ジャン！」

「言ったジャン！ケガしてるからこのままにしないと死んじゃうから保護する？」

「うん。じゃあ軍手ある？」

「家にあるから取りに行こう！」

米犬達は急いで荻犬の家に向かい、すぐ鳥のところに行った。

荻犬の家に持ち帰り、近所の鳥に詳しい人に聞いた。

「しじゅうからだね。まだ小鳥だよ。落ちてたの？」と聞かれたから、

「そうです。でもひいちゃったんです。」

「うん。多分命は少ないと思うけど、できるだ

け世話してあげてね。餌はすり餌がお店に売ってるよ。」

「そうですか。ありがとうございます。」

さっそく店に行った。すり餌は大きくて悩んだ。でも結局、1番すり餌の中の小さいものを買った。あげてみると、ぜんぜんうまく食べなかった。公園に連れて行き遊ばせた。餌は一瞬鳴いたときに与えた。とりあえず荻犬の家で飼うことになった。

次の日も朝から2人で世話をした。その次の朝、すごく元気だったのに学校から帰ると寒くて弱っていた。温めても元気にならない……。近所の人に聞いてみると、

「もう死んじゃうなぁ……。死ぬまで温めてあげてね。」

帰る時間になったのでひとまず解散した。

荻犬からメールがきた。その内容は、「トロ（鳥の名前）が死んじゃった。」の一言だった。一生懸命飛ぼうとしたり、手に乗ろうとしたりしていた事を思うと泣きたくなってきた。

荻犬の家に行くと、トロは色も悪くなっていて、目をかすかに開けて死んでいた。

遊んでいた公園にトロを埋めた。埋めている最中もまた泣きたくなってきた。あまり泣かない荻犬でさえも泣いた。米犬は涙もろくて家で号泣した。

トロといた時間はすごく楽しくて、いい思い出です。その事をきっかけに荻犬が家で鳥を飼うことになったそうです。

連絡・問合せ先 ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター

開館時間：午前9時から午後4時まで

休館日：月曜日、祝日の翌日

広告を掲載しませんか？

■広報つる

掲載場所

裏表紙(カラー)の最下段(2枠)
2色刷りページの最下段(2枠)

掲載規格(1枠) 縦5cm×横9cm

掲載料

裏表紙(カラー) 1枠 20,000円
2色刷りページ 1枠 10,000円

掲載期間 2カ月

■都留市ホームページ(バナー広告)

広告枠数 最大8枠

掲載規格(1枠)

天地60ピクセル 左右150ピクセル

4キロバイト以内 GIF 89A形式

掲載料 1カ月 5,000円

掲載期間 1カ月単位とし、連続する場合最大12カ月。

■共通事項

募集締切 掲載しようとする月の初日の1カ月前までに。

申込方法 都留市広告掲載申込書に掲載しようとする広告の原稿を添えてお

申し込みください。申込書は総務課、

政策形成課に備えてあります。また市

ホームページからもダウンロードする

ことができます。

広告の内容 市民生活に関連したもの

とします。詳しくは、お問い合わせ下

さい。

問合せ先

「広報つる」総務課秘書広報担当

「ホームページ」

政策形成課 情報システム担当

9 H.18.6.1